

# レポ がま 市議会だより

## 令和2年 12月定例会号

- 議案審議の概要 P 2
- 常任委員長報告、請願各臨時会のあらまし P 3
- 討論 P 4
- 市政に対する一般質問 P 5~9
- 議案等賛否一覧表 等 P 10

編集発行 宮城県塩竈市議会報編集委員会 tel 022(355)6793 Feb.2021 (令和3年2月)  
ホームページアドレス <https://www.city.shiogama.miyagi.jp/life/5/36/>



【塩竈市議会HP QRコード】  
市議会の情報は市議会HPでご覧になれます。



令和3年  
塩竈市魚市場の初セリ

### 定例会会議日程

- |     |  |
|-----|--|
| 本会議 | 12月8日 会期の決定、諸般の報告、請願第2号<br>取下げの件、請願付託、議案説明・総括<br>質疑及び議案付託                          |
| 委員会 | 12月10日 総務教育常任委員会<br>12月11日 民生常任委員会<br>12月14日 産業建設常任委員会                             |
| 本会議 | 12月15日 市政に対する一般質問<br>12月16日 市政に対する一般質問   |
| 委員会 | 12月17日 議会運営委員会   |
| 本会議 | 12月18日 各常任委員会委員長報告・議案審議及び<br>採決、民生常任委員会委員長請願審査<br>報告・請願審議・討論及び採決、追加<br>議案説明・審議及び採決 |

## 定例会のあらまし

令和2年12月定例会は、12月8日から12月18日までの11日間の会期で開催しました。

本会議の初日では、請願1件の取下げを許可した後、請願1件を所管の常任委員会に付託しました。

さらに、市長より提出議案の説明を受け、総括質疑の後、所管の常任委員会へ付託しました。

各常任委員会は3日間開催し、付託した議案、請願の審査を行いました。

本会議2日目と3日目は、8名の議員が市政に対する一般質問を行い、当局の見解をいただきました。

最終日には、各常任委員長から審査結果の報告を受け、議案11件を可決し、請願1件を不採択としました。

また、追加議案1件が上程され、市長より提出議案の説明を受けた後、即日審議の上、可決し、閉会しました。

(議案の件名と審議結果は10ページ)

# 補正予算 6億1961万1千円 の増額補正を可決

12月定例会における一般会計・特別会計・企業会計補正予算額は、6億1961万1千円で、補正後の予算総額は、588億7404万円となりました。

主な事業は次のとおりです。

## 一般会計

### 【補正額】

2億1546万4千円

## 1 新型コロナウイルス感染症対策事業

【補正額】1250万5千円

### ①子育て家庭応援事業

(補正額185万6千円)

ひとり親世帯への経済的支援や地元事業者の支援を目的として、児童扶養手当受給世帯に子育て応援パックを発送

### ②小中学校新型コロナウイルス感染症対策事業

(補正額532万9千円)

学校の消毒清掃作業の委託期間を令和2年12月までから令和3年3月まで延長など



小学校の消毒作業

## 2 今後の新型コロナウイルス感染症対策の財源確保

【補正額】

▲2億7397万5千円

### ①新型コロナウイルス感染症対策事業

(補正額)

▲2億4230万2千円

当初の見込みより支出減となった対策事業費を決算整理し今後の対策事業の財源を確保

## ②通常事業

(補正額)

▲3167万3千円

感染症拡大により、中止や縮小となった事業の予算を削減

## 3 災害関連事業

【補正額】1816万4千円

### ①東日本大震災追悼式開催費

(補正額494万1千円)

追悼式開催経費の計上

### ②災害救助費

(補正額1170万4千円)

震災・令和元年台風第19号の災害義援金 など

## 4 通常事業

【補正額】2億9603万円

### ①中学校防災機能強化事業

(補正額)

1億1025万6千円

避難所機能の強化及び新型コロナウイルス感染症対策の観点から第一中学校トイレの改修工事を実施

### ②生活保護扶助費

(補正額9118万3千円)

入院・施設入所者等が当初見込みより増加

### ③企画費

(補正額4628万8千円)

本市へのふるさと納税額が当初より大きく上回る見込みであるため、所要の経費を増額 など

## 5 繰入金

【補正額】823万6千円

### ①介護保険事業特別会計繰入金

来年度制度改正に対応するためのシステム改修経費

## 6 各会計からの繰入金

【補正額】2135万6千円

下水道事業、北浜地区復興土地区画整理事業特別会計からの繰入金

## 7 債務負担行為

①ふるさと納税促進事業業務委託

(限度額)

2億7557万4千円

外3件

## 8 地方債補正

①一般廃棄物処理事業

②中学校施設整備事業

## 特別会計

【補正額】4億414万7千円

## 1 国民健康保険事業

【補正額】342万1千円

①賦課徴収費

②課税改正に伴うシステム改修

③介護保険事業

【補正額】5117万2千円

①一般管理費

(補正額404万8千円)

## 2 介護保険事業

①一般管理費

(補正額404万8千円)

令和3年4月からの介護報酬改定等に伴うシステム改修

②施設介護サービス給付費 (補正額5612万1千円)

受給者や申請の増加等

③北浜地区復興土地区画整理事業

【補正額】600万1千円

④藤倉地区復興土地区画整理事業

【補正額】22万4千円

令和元年度事業費の確定に伴い、精算分を一般会計へ繰出

⑤下水道事業

【補正額】3億4812万7千円

②営業費用 (補正額)

3億2819万8千円

下水道事業の企業会計化に伴う予算の補正

③一般会計繰出金 (補正額1513万1千円)

令和元年度事業費の確定に伴い、精算分を一般会計へ繰出

④特別職の職員の給与に関する条例の一部を改正する条例 外2件

⑤特別職の職員の給与に関する条例の一部を改正する条例 外2件

# 常任委員長

## 報告

12月定例会において、議案11件を各常任委員会に付託し、慎重に審査が行われました。委員長報告の要旨は次のとおりです。



### 総務教育常任委員会

委員長 志子田 吉 晃

◎議案第71号、第74号、第80号は、原案のとおり可決すべきものと決しました。

「特別職の職員の給与に関する条例の一部を改正する条例」についての要望意見

○公共下水道使用料の賦課漏れが起きた原因を検証されるとともに、適切な定員管理を行い、同じ間違いを二度と繰り返さない組織体制の構築に努められたい。

「一般会計補正予算要望意見」

○東日本大震災追悼式開催費については、国は政府主催の追悼式を2021年までとする方針を示しているが、震災の経験を後世へ伝えるためにも、本市独自の追悼式の開催や震災を風化させない取組などを近隣自治体の動向を踏まえた上で、検討されたい。



### 民生常任委員会

委員長 阿 部 かほる

◎議案第72号、第74号、第76号、第81号は、原案のとおり可決すべきものと決しました。

「塩竈市障害児通園事業施設の指定管理者の指定についての要望意見」

○塩竈市障害児通園事業施設の指定管理者の指定については、市と指定管理者の間に適切な緊張感を保ち、指定管理者の能力やノウハウを最大限に生かした管理運営が行えるよう努められたい。

また、全庁的に指定管理者制度の導入が進められているが、行政側の人材の育成を含め、管理運営状況の適切な判断を行うことができる仕組みづくりに努められたい。



### 産業建設常任委員会

委員長 山 本 進

◎議案第73号及び第74号、第77号、第79号は、原案のとおり可決すべきものと決しました。

「一般会計補正予算要望意見」

○空き家活用促進事業においては、1640戸もの空き家候補建物が存在することを踏まえ、空き家の解消に向けた目標を定め、スピード感をもって事業を進められたい。

また、調査事業と並行して空き家の所有者や管理者が空き家の利活用について土地取引の専門家に相談できる窓口の設置について検討されたい。



## 請 願

審議結果は次のとおりです。

○不採択としたもの

▼国民健康保険税の子ども均等割の減免制度創設を求める請願

## 10月臨時会のあらまし

10月21日に令和2年第3回臨時会が開催されました。新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金を活用した事業を予算化した令和2年度塩竈市一般会計補正予算について市長より説明を受けました。

感染症拡大の影響により、市内の消費活動が著しく低迷し、飲食店等の経営環境が厳しさを増していることから、年末年始の需要喚起に向けた割増商品券を発行することにより、地域経済の活性化を図る割増商品券事業や宮城県「緊急の協力要請」により、特に大きな影響を受けている飲食店に対する緊急支援事業、また、新型コロナウイルス感染者が発生した事業者が行う店舗等の消毒経費を補助する新型コロナウイルス感染症対策消毒事業等あわせて9070万円の増額補正予算が計上され、審議の上、可決し、閉会しました。

## 11月臨時会のあらまし

11月27日に令和2年第4回

臨時会が開催されました。

令和2年人事院勧告を踏まえ、本市の特別職の職員（市長、副市長及び教育長）及び市立病院事業管理者、一般職の職員等の期末手当についてそれぞれ所要の改正を行うための条例について市長より説明を受け、審議の上、可決しました。

また、議長、副議長及び議員の期末手当の支給月数を引き下げるため「市議会の議員の議員報酬及び費用弁償等に関する条例の一部を改正する条例」を議員により提出し、審議の上、可決し、閉会しました。

### 常任委員会傍聴のお知らせ

常任委員会は、申込み手続を行うことにより傍聴することができます。一般傍聴人の定員は7人となっております。傍聴人は、「委員会傍聴に関する留意事項」を厳守して傍聴していただくこととなります。

詳しくは議会事務局までご連絡ください。

☎ 022-1355-6793

## 討 論

12月18日の本会議において  
討論を行いました。

その概要は次のとおりです。

### 請願第3号

**反対討論** 本請願は令和元年12月3日に提出された請願第2号国民健康保険財政調整交付金の「子ども被保険者分」を活用した子どもに関わる均等割の減免制度創設を求める請願を取り下げ、令和2年12月2日に請願第3号国民健康保険税の子ども均等割の減免制度創設を求める請願として

改めて提出されたものである。本市の国民健康保険について振り返ってみると、過去本市の税率はあまりにも高く、定例会で繰り返し質疑してきた。その結果、大きな原因は二つあることが分かった。

一つは、多くの人が病院にかり過ぎていること。これについては、広報などで市民に呼び掛けていただいた。もう一つは、未納者が多いこと。これについては、年間12回払いにすることを提案し、支払いやすくすることと合わせ、宮城県地方税滞納整理機構へ加入するなど、収納率向上に

向けた取組を行っていた。また、平成30年度の税率改定では、財政調整基金を活用した大幅な税率の引き下げを行い、現在本市は、県内でも比較的低い税率で国民健康保険事業を維持している。

本請願の趣旨は、加入する被保険者の人数に応じて加算される均等割について、18歳未満の子どもの均等割分を減免しなさいというものである。しかし、国民健康保険の税額は、収入に応じて計算される「応能割」と世帯の状況に応じて計算される「応益割」

という基準を元に算定されており、均等割については、この「応益割」に該当するものであるため、たとえ子どもの分であっても、健康保険の受益者が負担すべきものであると考える。

また、本請願の賛成者は、均等割について、子育て世帯に大きな負担を課す制度であると主張しているが、そもそも、本市では「子ども医療費助成事業」を行っており、高校3年生までの医療費を無料としている。これは、子育て世帯の経済的負担を大きく軽減するものである。

さらに本市では、「児童手当事業」も行われており、中学校終了前の子どもを持つ家庭に対し児童手当を支給すること、子育て世帯の生計の安定と養育される子どもの福祉増進を図っている。

国民健康保険事業の収支見直しによると令和6年度には、基金として最低限度必要な額を残し取崩し可能な基金が枯渇する見込みであることや高齢化などによる医療費の増加傾向が今後も続くことを踏まえると、税率の引き上げが必要であると考えられる。

以上のことから反対する。

### 賛成討論

本請願は、塩竈市に対し国民健康保険税加入世帯の18歳未満の子どもについて、国民健康保険税算定時の均等割分について、減免制度の創設を求めるものである。

事の経過を申し上げますと、令和元年12月定例会に請願第2号国民健康保険財政調整交付金の「子ども被保険者分」を活用した子どもに関わる均等割の減免制度創設を求める請願が提出され、これまで継続審査とされてきた。7月17日には民生常任委員会による

一般会議が開催された。

一般会議では、請願の趣旨には賛同するものの、「国民健康保険財政調整交付金の子ども被保険者分を活用する」という財源の部分について、既に全体の保険料の引き下げのために活用されている状況や、現在国により子どもの均等割分について新たな制度の検討がなされていることなどへの議論が重ねられた。

こうしたことを踏まえ、請願第2号については、請願者により請願の取り下げが行わ

れ、改めて、国民健康保険財政調整交付金の子ども被保険者分を活用するという部分を削除し、財源等を指定せず、国民健康保険事業を運営する本市に対し、まっすぐに18歳未満の子どもに係る均等割の減免制度創設を求め、請願第3号として提出されたものである。

国民健康保険税の均等割は、他の公的保険にはなく、保険税算定時において家族の人数に一定額を掛けるものであるが、収入のない子どもを保険

税算定に加えることは、子育て世帯に大きな負担を課す制度であり、この均等割に対する減免は、子育て世帯の経済的負担を軽減するものである。仙台市や石巻市では、3割の減免がなされており、どちらも子育て世帯の負担軽減をその目的としている。

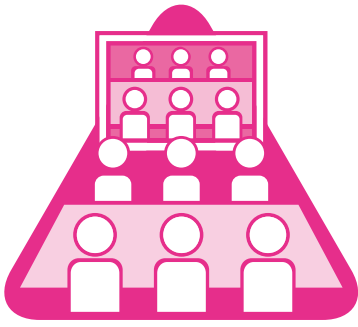
また、他自治体において、均等割の減免を子育て支援の一環として実施しようとする動きもあり、本市においてもこうした事例を踏まえていただきたい。

子育て応援は、令和2年度市政運営の基本方針においても重要な位置づけとされており、均等割の減免制度創設はその趣旨に合致する。

本請願を採択し、国や県に財源支援等に関する意見書を送付しながら、市当局に対しては、処理の経過及び結果の報告を求め、議会として、国民健康保険における18歳未満の子どもの均等割の減免制度創設に向けた後押しをしていくべきである。

以上のことから賛成する。

# 市政に対する 一般質問



市政に対する一般質問は、12月15日、16日の2日間に8名の議員が行いました。ここでは質問の中から2つ取り上げて、その要旨を掲載しています。なお、各議員が行った質問の項目も掲載しています。



日本共産党  
塩竈市議員  
小高 洋

## 道路環境整備については

**議員** 狭あい道路整備事業及び私道整備事業の考え方と実績について伺う。

本市の特性として、狭い生活道路が多く、自己負担額の大きさもあり、整備が進んでいない現状があると考える。

緊急車両の通行や日常生活における困難の増大も踏まえ、地域単位等で面的な整備を行う事業を検討する必要があると考えるが見解を伺いたい。

**建設部長** 狭あい道路の総延長は平成7年度に推計を行い46キロメートルと捉えている。昨年度末時点での狭あい道路整備事業の進捗率は28%程度にとどまっている。

私道整備事業は、事業の進捗を図るべく今年度から補助率の見直しを行ったが、今年度の申請はまだない。

市が私道の整備を行うことについては、個人の財産であ

る私道に公金を投入する形が取れるかどうか慎重に考え方を整理する必要があると認識している。

## コロナ禍における地域医療の在り方は

**議員** 新型コロナウイルス感染症の重症化が懸念される高齢者について、検査を希望する方への検査体制の整備、さらに、介護・保育・福祉・学校等社会的インフラ施設への行政検査の拡充について、保健所等と協議の場を設けてほしいと考えるが見解を伺う。

塩竈市立病院について、コロナ禍での公立病院の役割と



塩竈地区休日急患センター

取組について伺う。

塩竈地区休日急患センターの運営は、厳しい状況と考える。改めて圏域での協議が必要と考えるが、診療状況と人的体制について伺う。

**健康福祉部長** 重症化が心配される65歳以上への検査については、県と調整し、実施する方向で検討を進めたが、検査後の体制を見通せないこともあり、近隣市町等と協議し、実施しないこととした。感染の疑いがないところへの検査については、医療機関への影響を考え、現時点での実施は考えていない。

**市立病院事務部長** 現段階で、市立病院では新型コロナウイルス陽性患者の受入れはできないが、感染がさらに拡大し、県全体として対応を取るべき時には、何らかの検討をする必要があると考える。

**健康推進課長** 急患センターは、医師、薬剤師、看護師、医療事務員等が従事しており、直接雇用及び一部委託を行っている体制を組んでいる。

その他の質問項目

- ① コロナ禍の学校教育は
- ② 子ども医療費の助成は
- ③ 北浜緑地・防潮堤は など



日本共産党  
塩竈市議員  
辻畑 めぐみ

## インフルエンザ予防接種の自己負担軽減は

**議員** 本市のインフルエンザ予防接種の実施状況と近隣の自己負担額を伺う。

国保には年金生活者、失業者、中小企業の従業員等の低所得の方が多く加入しており、接種費用を自己負担することは厳しい。

また、13歳未満の方は2回の接種が推奨されている。65歳以上の方を無料化している自治体もある。

コロナ禍において、インフルエンザの併発を予防することとは重要である。65歳以上の方と、65歳未満の国保被保険者の自己負担の撤廃やさらなる軽減策について伺う。

**市長** 本市の10月末時点での接種者数は8271人で、昨年同時期の約3倍の人数となっている。

**健康福祉部長** 多賀城市、松島町、七ヶ浜町は高齢者のイ



消毒作業を行う保育士

### 保育園・幼稚園 及び学童保育者 への慰労金を

議員 仙台市は児童福祉施設、保育所や幼稚園、児童クラブ等で働く職員に、いち早く一人5万円の慰労金を支給して

ンフルエンザ予防接種費用を無料としており、松島町では、中学3年生、高校3年生も無料としている。また、利府町では、本市と同様に2千円の自己負担としている。  
医療機関からは、ワクチンの追加供給が見込めない状況になってきていると聞いており、助成については、現状のままにしたいと考えている。

職員は、新型コロナウイルス感染症が拡大する厳しい状況のもと、感染リスクの不安を抱え心身に負担がかかる中、子供たちの安全安心を確保するという強い使命感を持って働いている。

市内の保育所や幼稚園、放課後児童クラブ等の児童福祉施設に勤務する職員への慰労金の支給について市長の見解を伺う。

健康福祉部長 医療や介護の現場には、慰労金が国から直接支給されている。これは、医療や介護は、新型コロナウイルスの感染者を受け入れることで、利用者が減り、会社の収益性が悪化することにより、従事者の方々の給料が減るといふ現状に対して、国が慰労金として、給付を行ったという制度である。

コロナの第3波を迎え、本市全体を見た中で、経済の状況や予防接種の体制づくりなど、どういったところに交付金を活用するか全体的な検討をすべきものと考えている。

- ① 職員の健康管理は
- ② 石炭火力発電と公害防止は

## 市政に対する一般質問



創生会  
山本 進

### 市民が望む憩いの場は

議員 現長期総合計画に関する市民アンケート調査や、ワークシヨップでは、子供を安心して自由に遊ばせることのできる公園や、スポーツを楽しめる施設整備等が望まれている。広く市民に利用できる環境づくりとして、これら施設を効率的に回れるようなツールとしての、交通システム「循環バス」の運行が求められている。塩竈だから可能なシステムを早急に実現したい。「島」「海」「魚」「神社」

「公園」は、塩竈の持つ資産であり、次世代に受け継いで行かなければならない塩竈の魅力である。これが多くの市民の生の声でもあるが、市長の見解を伺う。

市長 伊保石公園は市制80周年を機会と捉え、スポーツやキャンプなどへの活用を、時間をかけて考えていきたい。



伊保石公園

市民総務部長 市民アンケートにおいて、「食文化」・「観光」・「社（やしろ）」がトップ3に挙げられるなど、「地域資源」を生かしたまちづくりが求められていると認識している。交通システムについては、バスなどの交通体系全体のバランスを見ながら考えてまいりたい。

### GIGAスクール構想は

議員 国では高度情報化の時代に対応するため、学校教育の中で、ICT環境の整備や生徒にタブレット端末を配備することとした。国際的な情

報化時代でのベストミックスを図る、とされている。既に今年6月議会に関連予算3億円が認められているが、その後の整備の進捗状況は。教師の指導スキル（知識レベル）に差はないか。そして何より、子どもにとって、いわゆる経済格差による、ネット環境の未整備等の結果、習熟度に格差が生じないか懸念される。

ICT化に伴い、機械が優位に立って、児童生徒の「個性」を重視した、いわゆるアクティブ・ラーニング等が出来なくなってしまうのではないか。

教育長 タブレット端末については4月から完全に活用できる状態になる。教員のスキルアップについては研修をこれからも実施。インターネット環境の無い家庭にはモバイルWiFiに対応。教師が中心となって確実に基礎、基本の定着を図ることが大前提。その次に子ども達同士で学び合いの場を設定し、資質向上を図ってまいりたい。

- ① 第5次長期総合計画の総括
- ② 復興計画の総括と繰越事業
- ③ コロナ禍に何を学んだか



創生会  
土見大介

## 浦戸振興について

議員 「浦戸再生プロジェクト」はどのように進んでいるのか。

また、防災集団移転跡地の整備や光通信網の整備は浦戸振興の好機と捉えるが、これらを活かして島民の福祉向上や新たな産業の創出に繋げることはできないか。

市長 目標、計画を定めるだけではなく、それに向かって努力し続けることが必要だと考える。市民の皆様の望みをうまくアレンジしながら計画案を作り、議会の皆様方と真剣に議論してまいりたい。

市民総務部長 令和2年4月に庁内組織「浦戸の再生検討部会」を設置し協議を重ねてきた。その最終報告では、浦戸諸島に係る法規制の課題抽出や島民の皆様からのご意見を参考にし、各種事業提案を行っている。浦戸再生プロ

ジェクトについては、令和3年1月の組織化を目指しており、島民の皆様が何を望んでいるのかを第一に考え、外部の専門家の意見なども踏まえながら進めていきたい。光通信網の整備については、リモートワークやワーケーション等も含め、光回線の活用策を検討してまいりたい。

## 子育て環境について

議員 市内の子育て環境はコロナ禍により以前にも増して悪化しており子育て環境の整備が急務であるが、今後の整備計画は。また、既存の施設



子育て支援アプリ 情報の充実が課題

や事業を最大限活用するため、HPやSNS、スマートフォンアプリなどを活用して保護者が子育て情報を得やすい環境を整えてはどうか。

健康福祉部長 子育て世代包括支援センターを令和2年度中に開設予定であり、既存の施設を含めフル活用していきたい。子育て支援センター

「こころん」については、新型コロナウイルス対策として予約制とし、密にならないよう対策しているほか、今年度から地域の集会所などで実施する「出張こころん」の取組を始めた。子育てに関する情報提供については、母子手帳アプリ「しおがますくすくアプリ by 母子モ」でも行っているので活用いただけるようにしていきたい。

健康推進課長 子育て世代包括支援センターの設立に当たっては、子どもを持つ母親が顔なじみの保健師や助産師といった専門の職員へ気軽に相談できる体制づくりを行ってまいりたい。

- その他の質問項目
- ① コロナ禍の影響については
  - ② まちの産業の活性化策は
  - ③ 次年度予算の対応策は



オール塩竈の会  
西村勝男

## コロナ禍での市税歳入予測について

議員 塩釜商工会議所が会員事業者を対象に「新型コロナウイルス感染症流行による事業の影響調査」を行った。

155の事業者から回答があり、売上げ減少との回答が全業種の80・9%、顧客の減少が49%となっている。

飲食業では売上げが減少との回答が97・5%と大きなダメージを受けている。特に、水産加工業では令和2年1月

3月は「受注の停滞」、4月6月になると「資金繰り」が影響のトップ項目に変化している。次年度の市税歳入予測はどのように捉えているか。

市長 経済活動の落ち込みなどで、法人の収益減、就業者数の減少、労働時間の短縮などで個人所得の減少などにより、法人市民税、個人市民税への影響が大きいことが予測される。また、固定資産税、

都市計画税の3年に一度の評価替えなどにより、令和3年度市税歳入は大変厳しいものと捉えている。現在精査中であるが、令和3年度の市税歳入は、前年度と比べ2億円程度の減収を見込んでいる。特に法人市民税は14・5%、個人市民税は6・28%の減少と予測している。

## ゴミ処理場の方向性は

議員 新浜町の清掃工場では、焼却によるCO2や大気汚染物質の発生中、ごみ処理が行われている。政府は、温室効果ガスの排出量を実質セ



清掃工場 (ごみ焼却場)

口の方針が示された。2030年代までに、自動車の「脱ガソリン」を掲げ、エネルギーは電気・水素を想定している。生活ごみの可燃ごみを固形燃料化し、「ゴミはすべて資源である」という考えのもと再資源化する方法や、清掃工場を「ごみ焼却発電プラント」として建設し、ごみ収集車を電気自動車に代え、発電した電気を電気自動車に供給するなど、選択肢が多くなっている。今後の清掃工場のごみ処理方法について何う。

**産業環境部長** 清掃工場は供用開始から44年が経過し、老朽化が著しく進んでいる。令和2年4月から、本市の重点課題の一つとして、ごみ処理事業について検討し、特に喫緊の課題であることから、11月に副市長を委員長とする廃棄物処理施設等整備検討委員会で議論を始めている。ごみ処理の広域化や民間委託に加え、CO2排出を抑える処理施設など様々な手法について比較検討してまいりたい。

その他の質問項目  
 ①県道利府中インター線は  
 ②市の花「白菊」の「浜菊」への名称変更は など



オール塩竈の会  
阿部 かほる

### 塩竈市立病院は

**議員** 塩竈市立病院について、次の2点を伺う。

①改革プランにより、病院経営がどのように変化したのか。現状と今後の見通しは。

②公立病院の役割を経営面だけで捉え、民間病院と同一に論じてしまうのはいかがなものか。公立病院の役割をしっかりと捉えなければ、市民の安全安心な暮らしを守る大切な部分を見落としてしまうのではないかと考えるが見解は。

**市立病院事務部長** ①改革プランによる経営の変化としては、総合診療室での診療体制の拡充や皮膚科常勤医の招聘、地域包括ケア病棟の拡充を軸とした病棟再編などに取り組んだ。今後の見通しについては、未だ国から次期プランの指針となる「新公立病院改革ガイドライン」が示されていないため、現プランに基づき



塩竈市立病院

運営を行ってまいりたい。②地域で不足している、必要とされている医療を提供していくことが公立病院の役割だと考える。急性期医療を終えたものの自宅退院が困難な方や入院が長期化するような方などを受け入れることで、市民の健康や安全安心な暮らしを支えてまいりたい。

### 浦戸振興は

**議員** 浦戸振興について、次の3点を伺う。①浦戸の海の幸の販路を確保するため、仲卸市場に専売ブースを設けてはどうか。②復旧事業により

浦戸の干潟が造成された。アサリなどの漁場が拡大するのと考えるが、今後の干潟造成拡大についての見解は。

③朴島や石浜地区では、一時避難場所に滞在できる建物がない状況であるが見解は。

**産業環境部長** ①市場の店舗数は減少傾向にあり、空きブースも目立っているため、仲卸連合会などと意見交換を進めたい。②干潟のさらなる造成については、国や県などとの協議が必要となるため、漁協等のニーズを踏まえ、関係機関と相談してまいりたい。

**市民総務部長** ③朴島や石浜地区における一時避難場所については、原則滞在することを見解を伺う。

その他の質問項目  
 ①コロナ禍の現況は  
 ②学校連絡デジタル化は など

浦戸の干潟が造成された。アサリなどの漁場が拡大するのと考えるが、今後の干潟造成拡大についての見解は。

③朴島や石浜地区では、一時避難場所に滞在できる建物がない状況であるが見解は。

**産業環境部長** ①市場の店舗数は減少傾向にあり、空きブースも目立っているため、仲卸連合会などと意見交換を進めたい。②干潟のさらなる造成については、国や県などとの協議が必要となるため、漁協等のニーズを踏まえ、関係機関と相談してまいりたい。

**市民総務部長** ③朴島や石浜地区における一時避難場所については、原則滞在することを見解を伺う。



オール塩竈の会  
志子田 吉晃

### 女川原発の再稼働は

**議員** 今年2月、原子力規制委員会が女川原発再稼働に合格を出し、11月12日には県知事が再稼働に同意した。原発を停止したままでは、エネルギー政策上無駄があり、市民の電気料金上昇と生産原価の無駄につながる。女川原発の安全性については確認されているが、本市の方針について見解を伺う。

**市長** 大変デリケートな問題であるが、これまで多くの関係者の皆様が、積み重ねてきた議論の重さというものを、しっかりと受け止めていく姿勢が大切であると考えている。また、11月9日に、宮城県市町村長会議が開催され様々な議論があったが、賛成派・反対派の溝をどのように埋めていくのかが重要であると考えている。多くの住民が、不安に思うであろう避難計画や避難

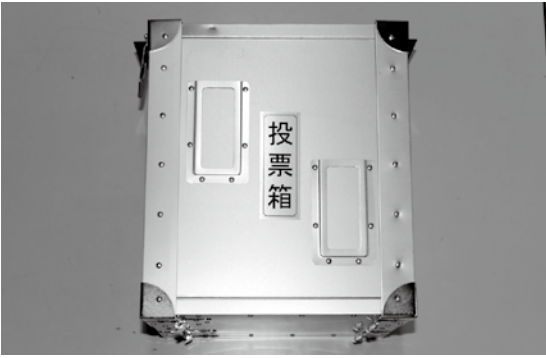
浦戸の干潟が造成された。アサリなどの漁場が拡大するのと考えるが、今後の干潟造成拡大についての見解は。

③朴島や石浜地区では、一時避難場所に滞在できる建物がない状況であるが見解は。

**産業環境部長** ①市場の店舗数は減少傾向にあり、空きブースも目立っているため、仲卸連合会などと意見交換を進めたい。②干潟のさらなる造成については、国や県などとの協議が必要となるため、漁協等のニーズを踏まえ、関係機関と相談してまいりたい。

**市民総務部長** ③朴島や石浜地区における一時避難場所については、原則滞在することを見解を伺う。





選挙で使われる投票箱

## 公正で透明な選挙制度は

所、避難道路の整備などへの疑問点や現状に対し、しっかりと説明することや安全対策を講じることなど、住民に納得いただけるような努力を続けるべきであろうと思う。こうしたことが前提となるが、市長として、やむなし同意ということを発表させていただいた。

議員 米国大統領選の結果は、日本の安全保障と塩竈市民の生活に重大な影響を及ぼす。民主主義の維持のためには、思想・信条・言論の自由と公

正で透明な選挙制度が必要である。そこで、次の3点について見解を伺う。①民主主義の維持と選挙制度の背景は。②公職選挙法の精神と具体的規定は。③不正選挙防止のための方策は。

市長 ①一人一人が考える民主主義の在り方には、様々な解釈があると思うが、今後平等や人権が尊重されるよう努力し続けていくことが大切であると理解している。②選挙管理委員会事務局長 ③公職選挙法は、日本国憲法の精神にのっとり、選挙人の自由な意思に基づいて投票できるような政治活動などを厳しく規制する規定など、選挙が公平かつ適正に行われるよう様々な規定が定められている。

③不正防止策については、公職選挙法に基づく立会人による監視や電算システムの活用による期日前投票所や当日投票所における二重投票の防止、警察との連携による投票所などの秩序維持や選挙違反の取締りを実施している。

- その他の質問項目
- ① コロナ感染者の氏名・店名公表の基準は
  - ② マイナンバー制度は など



公明党  
小野 幸男

## 行政手続きのデジタル化推進は

議員 国の重点政策の一つがDX（デジタルトランスフォーメーション※）への転換である。新型コロナウイルス対策として、様々なサービスを非接触で行わなければならない状況であり、行政手続きをオンラインで行うことは一層求められている。今からでも可能な限りのオンライン化を進めるべきと考えるが、本市のデジタル化の現状と今後の各種申請手続きのオンライン化への取組について伺う。

市民総務部長 本市では現在、県が運営する「みやぎ電子申請サービス」を活用し、各種申請手続きを行うことができる環境を整えている。これは、インターネットを通じて行政手続きができるサービスであり、住民票の写しの交付申請など24項目の手続きができるようになっている。本市にお

ける利用件数は、年間10万件程度と非常に少ない状況であるため、広報やホームページなど様々な機会を捉え、周知を行うとともに、県内自治体の取組を参考にするなど利用促進を図ってまいりたい。※デジタル技術を浸透させることで人々の生活をより良いものへと変革すること

## 通話録音装置の設置は

議員 近年、高齢者を狙った振り込め詐欺などの特殊詐欺被害が増加している。被害者の多くは65歳以上の高齢者が多く、日中一人で在宅する人



通話録音装置

が多いため狙われやすく、コロナ禍における特殊詐欺の被害も懸念される。被害を未然に防ぐ対策として、受話器を取ると「通話の内容を録音する」と告げる通話録音装置を受話器に設置し、犯罪抑止につなげている自治体が増えてきている。本市でも市民へ通話録音装置の設置を促すなど、特殊詐欺の被害防止に向けた取組を行うことが必要だと考えるが見解を伺う。

市民総務部長 特殊詐欺などの犯人は、自分の声が録音されることを嫌うため、通話録音装置の設置は、特殊詐欺の被害防止に大変有効であると認識している。また、通話録音装置は非常に安価であるということも伺った。現在、例えば地域まちづくり推進事業などの補助制度を活用していただく方法などを様々模索している状況である。今後も引き続き、塩釜警察署などの防犯関係機関と連携し、特殊詐欺被害などの犯罪防止に努めてまいりたい。

- その他の質問項目
- ① 新型コロナウイルスとインフルエンザ同時流行に備えた相談・検査体制は など

# 議案等賛否一覧表

○：議案等に対して賛成  
 ×：議案等に対して反対  
 /：議長は採決に加わりません

会議名	議案番号 件名	会派名 議員氏名														審議結果					
		公明党	日本共産党 塩竈市議団	創生会	オール塩竈の会																
		浅野敏江	小野幸男	菅原善幸	曾我ミヨ	伊勢由典	小高洋	辻めぐみ	志賀勝利	今野恭一	伊藤博章	山本進	土見大介	香取嗣雄	阿部かほる	西村勝男	阿部眞喜	鎌田礼二	志子田吉晃		
10月臨時会	議案第68号 令和2年度塩竈市一般会計補正予算	○	○	○	○	○	○	○	○	○	/	○	○	○	○	○	○	○	○	○	原案可決
11月臨時会	議案第69号 一般職の職員の給与に関する条例及び塩竈市一般職の任期付職員の採用等に関する条例の一部を改正する条例	○	○	○	○	○	○	○	○	○	/	○	○	○	○	○	○	○	○	○	原案可決
	議案第70号 特別職の職員の給与に関する条例及び塩竈市立病院事業管理者の給与等に関する条例の一部を改正する条例	○	○	○	○	○	○	○	○	○	/	○	○	○	○	○	○	○	○	○	原案可決
	議員提出議案第4号 市議会の議員の議員報酬及び費用弁償等に関する条例の一部を改正する条例	○	○	○	○	○	○	○	○	○	/	○	○	○	○	○	○	○	○	○	原案可決
12月定例会	議案第71号 特別職の職員の給与に関する条例の一部を改正する条例	○	○	○	○	○	○	○	○	○	/	○	○	○	○	○	○	○	○	○	原案可決
	議案第72号 塩竈市国民健康保険税条例の一部を改正する条例	○	○	○	○	○	○	○	○	○	/	○	○	○	○	○	○	○	○	○	原案可決
	議案第73号 塩竈市地域経済牽引事業を促進すべき区域における固定資産税の課税免除に関する条例の一部を改正する条例	○	○	○	○	○	○	○	○	○	/	○	○	○	○	○	○	○	○	○	原案可決
	議案第74号 令和2年度塩竈市一般会計補正予算	○	○	○	○	○	○	○	○	○	/	○	○	○	○	○	○	○	○	○	原案可決
	議案第75号 令和2年度塩竈市国民健康保険事業特別会計補正予算	○	○	○	○	○	○	○	○	○	/	○	○	○	○	○	○	○	○	○	原案可決
	議案第76号 令和2年度塩竈市介護保険事業特別会計補正予算	○	○	○	○	○	○	○	○	○	/	○	○	○	○	○	○	○	○	○	原案可決
	議案第77号 令和2年度塩竈市北浜地区復興土地区画整理事業特別会計補正予算	○	○	○	○	○	○	○	○	○	/	○	○	○	○	○	○	○	○	○	原案可決
	議案第78号 令和2年度塩竈市藤倉地区復興土地区画整理事業特別会計補正予算	○	○	○	○	○	○	○	○	○	/	○	○	○	○	○	○	○	○	○	原案可決
	議案第79号 令和2年度塩竈市下水道事業会計補正予算	○	○	○	○	○	○	○	○	○	/	○	○	○	○	○	○	○	○	○	原案可決
	議案第80号 工事請負契約の締結について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	/	○	○	○	○	○	○	○	○	○	原案可決
議案第81号 塩竈市障害児通園事業施設の指定管理者の指定について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	/	○	○	○	○	○	○	○	○	○	原案可決	
議案第82号 令和2年度塩竈市一般会計補正予算	○	○	○	○	○	○	○	○	○	/	○	○	○	○	○	○	○	○	○	原案可決	

次回の定例会は  
**2月16日(火)**  
 午後1時開会予定です

令和2年は4回の定例会に加え、さらに4回の臨時会を開き、新型コロナウイルス感染症対策等を含め議論を重ねてまいりました。市議会では、今後も丁寧かつ敏速に審議を行ってまいります。

委員長 土見 大介

## 編集後記

## 定例会傍聴のお知らせ

定例会は、年4回(2月・6月・9月・12月)開催されています。

本会議は、一般に公開され、どなたでも傍聴できます。傍聴をされる方は、市役所(本庁)4階の傍聴席へお気軽においでください。

なお、傍聴の際に携帯電話をお持ちの方は、電源を切ってから入室をお願いいたします。

詳しくは、議会事務局まで。

☎ 022-355-6793

## 議会中継のお知らせ

インターネット・ケーブルテレビで議会中継を放送しています。

インターネットでは過去の録画放送もご覧いただけます。

下記のQRコードでもアクセスできますので、ご覧ください。

